

「豊岡市新文化会館整備基本構想」を策定

～人・地域・世代を繋ぐ文化芸術交流拠点～

豊岡市民会館および出石文化会館（ひぼこホール）の老朽化に伴い、両館のホール機能を統合する「豊岡市新文化会館整備基本構想」を策定した。

【基本構想の概要】

1 豊岡市新文化会館整備基本構想の構成

- (1) 基本構想策定の背景
- (2) 第1章 豊岡市新文化会館を取り巻く状況
- (3) 第2章 豊岡市新文化会館の基本的な考え方
- (4) 第3章 豊岡市新文化会館に必要な機能と考え方
- (5) 第4章 豊岡市新文化会館の管理運営の考え方

2 基本理念

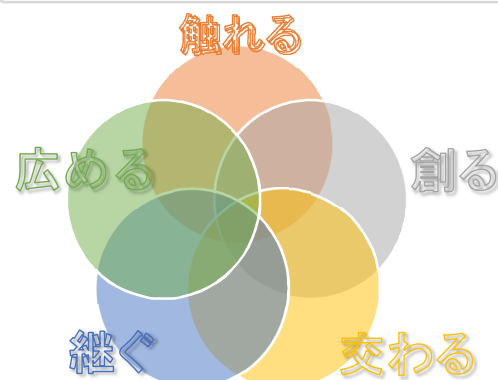
「豊岡市は、文化芸術によるまちづくりで

『小さな世界都市—Local & Global City—』を目指します。」

新たな文化会館は、安定的で継続的な市民やアーティスト等の文化芸術創造活動を支える中核施設とする。優れた文化芸術を通じて人々に安らぎや活力を与え、創造力や表現力を引き出し、市民生活を豊かにする様々な機会と場を提供する。

また、地域や世代を超えた交流活動を生み出し、豊岡市の魅力を内外に発信しながら、賑わいのあるまちづくりに繋げていく。

人・地域・世代を繋ぐ文化芸術交流拠点



(1) 基本的な役割

ア 市民が優れた文化芸術に触れる機会の提供

子どもから大人まで身近に優れた文化芸術に親しみ楽しむ機会を提供し、市民が豊かさを実感できる場とする。

イ 多様なレベルの文化芸術活動・創造拠点

- (ア) はじめての人から更なる高みを目指して本格的に取り組む活動、さらにはプロとしてのステップアップを図る若手アーティストの活動まで幅広く支援する。
- (イ) 日常的な練習・創作活動の場であると同時に、それらの成果を発表・披露する“ハレ”の場とすることで、文化芸術の創造と発展を支援する。

ウ 地域文化の次世代への引継ぎ

市域を構成する各地域に伝わる伝統芸能など、豊かな自然と歴史など地域固有の文化を再発見し、市域全体に広げること、次世代に引継ぐ。

エ 交流を生み出す、市民の居場所づくり

誰でも気軽に立ち寄り、文化芸術に触れながら快適に過ごすことができる環境づくりに取り組む。

オ 文化芸術の発信

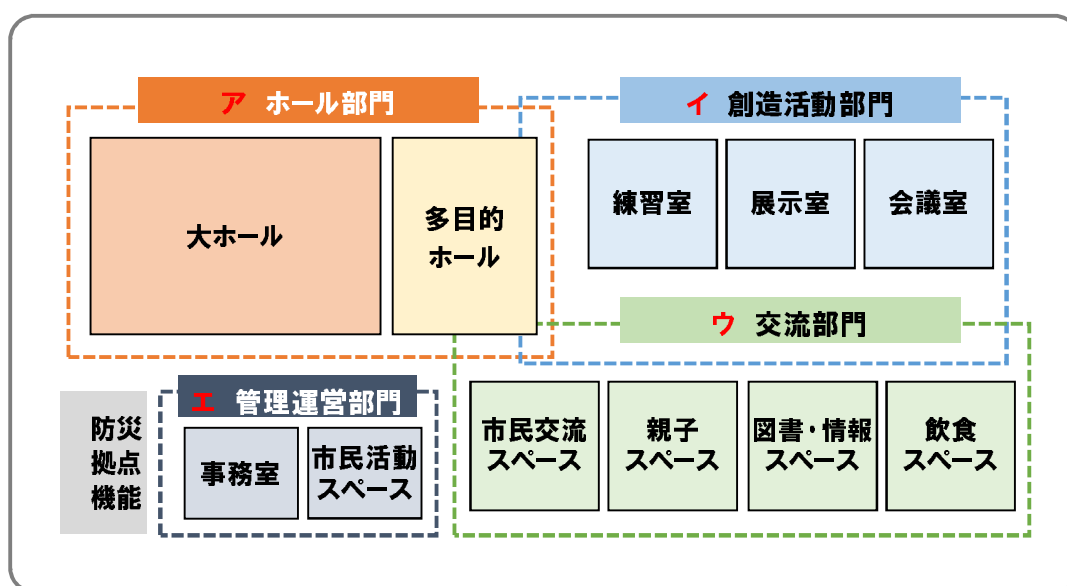
市民サークルからプロのアーティストまで、様々な文化団体や活動の紹介、各種イベント・企画の広報など幅広い文化芸術情報を発信する。

カ 他の文化芸術施設との有機的な連携

文化芸術交流拠点として、関連機関と連携、実践することで豊岡市の総合的な文化芸術環境の充実、強化に貢献する。

3 新文化会館の施設の概要

(1) 施設機能および構成



ア 大ホール部門

(ア) 大ホール

- a 収容人数 600人～1000人程度
- b 客席構造 複層化し、利用人数が少ない時は1階のみを利用できるようなシステム等を検討する。
- c 座席 ゆとりある客席、障害者や高齢者にも配慮する。

(イ) 多目的ホール

- a 収容人数 200人～300人程度
- b ホール 公演のリハーサルや市民の日常的な練習、小規模な発表会など、多用途に対応する平土間形式

イ 創造活動部門

日常的な活動・練習・発表の場として楽器演奏やダンス等、防音・遮音性能を備えた練習室、会議室などの設置を検討する。

ウ 交流部門

市民の憩いの場となるような市民交流スペース、子ども・子育て親子スペース、図書スペース、カフェレストランなどの設置を検討する。

エ 管理運営部門

事務室、市民活動スペースなどの設置を検討する。

(2) 施設規模

施設規模は、概ね 6,000 m²～7,200 m²を想定、様々な機能に柔軟な対応ができる「多機能」な設備、「重ね使い」することで、規模やランニングコストを抑えたコンパクトな計画を目指す。

(3) 駐車場

敷地の立地や広さに合わせて最大限の駐車台数確保を目指す。立体駐車場の整備や公共施設駐車場の活用も検討する。

(4) 施設配置

建物内では、観客、出演者、搬出入等の動線を考慮、日影、騒音、振動等を極力抑える配置を検討する。

(5) 施設整備における配慮事項

ア 安全性	地震や水害等の自然災害に対する強度、避難場所
イ 利便性・快適性	ユニバーサルデザイン、バリアフリー
ウ 経済性・効率性	建設費だけではなく維持管理費の抑制
エ 環境共生	ゼロエネルギー、自然エネルギーの活用
オ デザイン	地域性、施設コンセプトとの整合

4 新文化会館の建設地

建設地は決まっていないが、市の財政状況、整備スケジュール等を勘案し、現有市有地の活用する方針である。選定にあたっては、公共交通機関や道路アクセス条件、周辺環境等を踏まえ検討する。

5 新文化会館の管理運営の考え方

(1) 管理運営

豊岡市新文化会館整備基本構想及び今後策定する基本計画の考え方を踏まえ、広く市民の意見を聞き「管理運営計画」としてまとめる。

(2) 組織

ア 体制

専門職大学との連携、専門性を持った人材の確保、市民の主体的な活動や参加を推進・促進していくような人材を確保する。

イ 管理運営主体

「直営」「指定管理」、業務ごとに専門性をもった人員の配置、異なる主体で業務を分担するなどを検討する。

また、社会包摂の観点から、障害者の雇用の方や活動の支援も検討する。

ウ 管理運営のシステムの構築

文化芸術活動の拠点として、規則に則した運営に対するシステムを検討する。

エ 市民参加・市民協働に関する基本的な考え方

積極的な市民参加・参画を進め、発展的に関わっていけるような環境整備や仕組みづくりを検討する。

オ 収入確保方策の検討

使用料、入場料のほか、国や民間からの補助金、助成金、その他豊岡市新文化会館の運営に対する収入確保方策を検討する。

〔問合せ〕 地域コミュニティ振興部 新文化会館整備推進室 TEL(0796)21-9130